

< 目次 >

※【お知らせ】清心さんによる訪問コンサート中止のお知らせ

1【共通課題】平成24年度全国学力・学習状況調査の結果

2【教振は今】教ちゃん、振ちゃん見聞録

3【編集後記】あつしのひとりごと

★ 教育振興運動イメージソング「Hand In Hand」を聴くことができます。

ここをクリック⇒ <http://www.pref.iwate.jp/~hp1595/HANDINHAND.html>

★ 「ココロの風」手話歌詞カード

⇒ <http://www.pref.iwate.jp/~hp1595/kyousin/24kokoronokazesyuwa.pdf>

※【お知らせ】清心さんによる訪問コンサート中止のお知らせ

今年、3月より教育振興運動イメージソング「Hand In Hand」の周知・啓発のために、清心さんの訪問コンサートをおこなってきました。お蔭さまで、学校や地域で歌っていただき、定着してきたところです。

訪問コンサートは平成25年3月31日まで行う予定でございましたが、清心さんがご結婚・ご懐妊されたことを受け、母子の安全を考え、今後の啓発活動を中止することといたしました。コンサートの訪問が決定しておりました市町村及び学校の皆様にはご迷惑をおかけいたしますが、ご理解くださいますようお願いいたします。

「Hand In Hand」は、清心さんの歌ではなく、教育振興運動に取り組む私たち、そして大震災津波を乗り越えていく岩手県民の歌として、これからも歌い続けていきたいと思っております。今後とも、ご支援のほどよろしくお願いいたします。

1【共通課題】平成24年度全国学力・学習状況調査の結果

○1日に3時間以上テレビを見ている小学校6年生の割合は、毎年減少し、今年度、ついに全国を下回りました。中学校3年生の割合は、若干、全国を上回っていますが、平成20年度（47.6%）以降、毎年減少し、34.4%まで下がっています。

○1日に60分以上家庭学習をしている小学校6年生の割合は、毎年全国の割合を上回っているうえ、平成20年度（61.5%）以降、毎年増加し、今

年度は71.9%となりました。中学校3年生の120分以上家庭学習をしている割合も、平成20年度（15.8%）以降、毎年増加し、19.5%となっています。

○学校以外での読書の習慣化は、小学6年生は伸び悩んでいますが、中学3年生は、平成21年度（25.2%）以降、毎年増加し、30.0%となり、全国の割合を上回っています。

4月17日（火）におこなわれました『全国学力・学習状況調査（全国学力テスト）』の結果が、8月8日（水）に文部科学省より発表されました。

<平成24年度全国学力テストの質問紙調査の結果>

- ★テレビ時間 ⇒ <http://www.pref.iwate.jp/~hp1595/kyousin/24tvhikaku.pdf>
- ★家庭学習時間⇒ <http://www.pref.iwate.jp/~hp1595/kyousin/24kateigakusyuuuuhikaku.pdf>
- ★読書時間 ⇒ <http://www.pref.iwate.jp/~hp1595/kyousin/24dokusyojikanhikaku.pdf>
- ★小6；H19→24 推移⇒ <http://www.pref.iwate.jp/~hp1595/kyousin/24syuu6suii1924.pdf>
- ★中3；H19→24 推移⇒ <http://www.pref.iwate.jp/~hp1595/kyousin/24chuu3suii1924.pdf>

この全国学力テストは、平成19年度より始められ、学力テストと併せて児童生徒からの質問紙調査をおこなっています。平成19年度の調査の結果、岩手県の児童生徒のテレビ等の視聴時間が長いことが明らかになり、大きな問題となりました。

そこで、家庭における生活時間を見直し、テレビを見る時間を減らして学習時間と読書時間を確保しようと平成20年度に「家庭学習の充実」と「読書活動の推進」を教育振興運動の全県共通課題として提唱することとし、平成21年度より学校の設定する「まなびフェスト」と連携を図りながら市町村・地域で取り組むことを奨励したのでした。

『全国学力・学習状況調査（全国学力テスト）』の結果の推移をご覧ください。全県をあげて「テレビ時間を減らそう」「家庭学習を充実させよう」「読書に取り組もう」という機運が高まり、その成果は確実に上がってきています。

学校側からの「まなびフェスト」と家庭・地域側からの「教育振興運動・全県共通課題」の連携を図った取組の結果、“岩手の子どもは、テレビばかり見ている”という汚名は返上されました。子ども自身、保護者、先生方、地域の方、行政の皆さんのそれぞれが、「テレビ時間が長く、家庭学習や読書の時間が短い」という課題を解決しようと意識して頑張ってきた成果です。

投げかけたものが、返ってきます。何もしなければ、何も起こりません。取り組んだから、その結果が返ってくるのです。これからも、自信を持って取り組んでいきましょう。さあ、2学期が、始まりました。

2 【教振は今】教ちゃん、振ちゃん見聞録

(振ちゃん) 暑い〜。休み・・・、僕の夏休みを返して〜！

(教ちゃん) ちょっと、しっかりしなさいよ。2学期は始まったのよ。

(振ちゃん) だってえ・・・。太陽のばかあ〜！

(教ちゃん) もう、うるさいわね。それじゃ、シャキッとするように“抜き打ちテスト”をするわよ。

(振ちゃん) え〜、テ、テスト？

(教ちゃん) そうよ。さあ、鉛筆を用意して！始めるわよっ。

(振ちゃん) ちょ、ちょっと待ってよ〜！ げっ、このテストは何？

テスト問題⇒ <http://www.pref.iwate.jp/~hp1595/kyousin/24yahabakyousintesuto.pdf>

(教ちゃん) どう？これができないと・・・振ちゃん、恥ずかしいわよ〜。

(振ちゃん) あわわわわ・・・。

(教ちゃん) これは、教ちゃん・振ちゃんのフェルト・ペーパーサートを作った矢巾町教育委員会が作った「教育振興運動テスト」です。皆さんもやってみてくださいね。どう？振ちゃん！

(振ちゃん) む・ず・か・し・い・・・！（撃沈）

(教ちゃん) あら、振ちゃん。気を失っちゃった？

(振ちゃん) ・・・。

(教ちゃん) 地域の皆さんに「教育振興運動とは、何か？」ということを理解してもらいたいという思いが、フェルト・ペーパーサートでの人形劇になったり、このテストのように問題形式になったりしているの。担当者の思いが工夫につながっていくのね。素敵な取組だわ。

3 【編集後記】あつしのひとりごと

「ここから先は、福島第1原子力発電所から10Km圏内になりますので、許可証がある方しか通行できません。」浪江町に入る国道6号線は、警察により通行止めとなっていました。浪江町手前の福島県南相馬市小高地区では、被災した家屋やつぶれた自動車が放置され、町には生活の匂いがしませんでした。

宮城県東松島市野蒜（のびる）駅では、地元のおばちゃんが毎週日曜日に被災状況を説明し、仙石線の復旧に向けた運動をおこなっていたり、宮城県仙台市若林区荒浜では、おばちゃんがこの地に戻ってきたいと署名運動をおこなっていたり・・・。

この夏、大震災津波後初めて、岩手県を出て宮城県・福島県の沿岸地域を回ってきました。改めて、大震災津波の被害の大きさを痛感したところです。

南相馬市の千倉仮設住宅では、集会所でおばちゃんたちとお話をしてきました。ここの集会所は、市民団体の“つながっぺ南相馬”が「憩いのサロン」として運営し、係員が常駐して毎日開館しているとのことでした。毎週、仮設住宅の住民対象の事業がおこなわれ、子どもたちの居場所にもなっていました。

ふらっと訪れたピエロを温かく迎えてくれ、おばちゃんの作った漬物と冷たい麦茶をごちそうになりながら、居心地の良さに長居をしてしまいました。

★メルマガの感想や日頃思っていること、意見・要望をお寄せください。

感想・意見・要望はこちら。 ⇒ 21kyoushin@gmail.com

⇒ 第76号は、9月11日（火）配信です。

★バックナンバー（第1～74号）はこちら。

⇒ http://www.pref.iwate.jp/~hp1595/kyousin/merumaga_backnumber.html

★全県共通課題（家庭学習と読書推進）の実践事例はこちら。

⇒ <http://www.pref.iwate.jp/~hp1595/kyousin/zenkenjirei.html>

★メルマガで紹介しました資料はこちら。

⇒ <http://www.pref.iwate.jp/~hp1595/kyousin/shoukaijirei.html>

~~~~~配信元~~~~~

\*岩手県教育委員会事務局 生涯学習文化課

\*発行人：教育振興運動担当 佐藤敦士（さとう あつし）

転送はご自由です。どんどん転送してください。ロコミは、あなたから始まります。「みんなでやろう！」という雰囲気をおあなたから作りだしてください。

~~~~~